

【月刊HMレポート：Vol. 191】 2017年08月号

【成果を出す組織を作るマネジメント】シリーズ

このレポートは経営者および経営幹部の皆様のために作成されています！



労働の“量”ばかりが注目され過ぎる？ 改めて“労働の質”を捉え直す必要性

◆◆◆ データ分析の専門家による意外な問題提起 ◆◆◆

◆本レポートの内容◆

- | | |
|-------------------------|-------|
| 【1】データで“判断”できるモノとできないモノ | …… 1頁 |
| 【2】労働を時間視点から捉えるだけで良いのか？ | …… 2頁 |
| 【3】ビジネス上の成果だけでは語れない労働の質 | …… 3頁 |
| 【4】作業の“完成度”と“残業”との密接な関係 | …… 4頁 |
| 【5】労働の“質”を把握する“尺度”はあるか？ | …… 5頁 |

今、様々な企業で“労働時間”が問題になっています。それは、未払い残業代問題という姿で現れたり、仕事量の削減のための受注抑制という形で出て来たりしているのです。

しかし“時間”という“量”的視点と同様、労働によって、どのような“成果”を出すべきかという“質”の問題も重要なはずで、労働の“質”が低ければ、それはそのまま“事業成果の低下”につながるからです。

では“労働の質”とは、いったい“どのような”ものなのでしょうか。



SFC 労務管理センター jinjiken 人事労務管理研究所

〒460-0015 名古屋市中区大井町 2-11 (同所併設)

Mail : info@jinjiken.co.jp

- SFC 労務管理センター TEL : 052-331-0844 FAX : 052-321-1108
- jinjiken 人事労務管理研究所 TEL : 052-331-0845 FAX : 052-321-1125

SRヒューマン・マネジメント研究会

私どもでは、人材や組織管理に関わる業務を通じて、広く皆様方のマネジメントをご支援いたしております。そうした活動から得た様々な考え方等を、当事者の皆様にご了解を頂いた上で、事例としてご提供しています。